

事業報告書			
医療法人整理番号		00019	
報告期間		自 令和6年4月1日	
		至 令和7年3月31日	
1 事業報告書の概要			
(1) 名称	医療法人清仁会	分類①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。)について、該当するものをリストから選択すること。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)	
分類①	社団 (出資持分なし)		
分類②	特定医療法人		
分類③	基金制度不採用		
(2) 事務所の所在地	岐阜県 岐草県		
	市区町村		
	町名・番地		
	建物名		
	のぞみの丘ホスピタル		
(3) 設立認可年月日		従たる事務所の記載はこちら	
(4) 設立登記年月日		昭和38年8月28日	
(5) 理事長の氏名	姓 名	昭和38年9月4日	
		山田	
		實弘	
役員及び評議員の人数	20	理事長を含む人数を記載すること。	
役員及び評議員	記載はこちら		
2 事業の概要			
(1-1) 本来業務 (病院、診療所)	記載はこちら		
(1-2) 本来業務 (介護老人保健施設、介護医療院)	記載はこちら		
(2) 附帯業務	記載はこちら		
(3) 収益業務	記載はこちら		
(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項	記載はこちら		
(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債	記載はこちら		
(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債	記載はこちら		
(7) 当該会計年度内に開設 (許可を含む) した主要な施設	記載はこちら		
(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	記載はこちら		
(9) その他	記載はこちら		

(5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。
全ての指定内容について記載しても差し支えない。
当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

事業報告書			
1-(2) 従たる事務所の所在地			
都道府県	市区町村	町名・番地	建物名

事業報告書			
1-(5) 役員及び評議員			
役職	姓	名	備考
理事	山田	實紘	創設者の甥
理事	山田	実貴人	創設者の甥の子
理事	児玉	佳也	当法人 病院施設管理者
理事	西野	章司	当法人 事務長
理事	七森	寿幸	当法人 看護部長
理事	木澤	正明	当法人 看護顧問
監事	堀部	清秀	元美濃加茂市市議会議員 農業
監事	西田	英彦	税理士
評議員	安藤	志郎	元校長 美濃加茂市教育委員会非常勤講師
評議員	坂井	知足	元美濃加茂市市議会議員 農業
評議員	渡邊	芳貴	元美濃加茂市役所部長 無職
評議員	木村	和幸	元美濃加茂市社会福祉協議会局長 無職
評議員	渡邊	孝男	美濃加茂市市議会議員
評議員	今井	久子	司法書士事務員
評議員	川合	純朗	中部国際医療センター職員
評議員	武田	由美	NPO法人役員
評議員	高井	実枝	美濃加茂市市議会議員
評議員	佐橋	敏春	元美濃加茂市役所部長 農業
評議員	鈴木	哲馬	濃飛葬祭代表取締役
評議員	小原	将生	損害保険会社代理店社員

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第4 2 条の 3 第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

1-(5) 役員及び評議員		
役職	姓 名	備考

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。（医療法第46条の5第6項参照）
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。（医療法第46条の4第1項参照）

事業報告書						
2-(1) 本来業務 (介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)						
種類	施設の名称	指定管理	施設の介護事業所番号	開設場所	入所定員	通所定員
介護老人保健施設	サントピアみのかも		2151280027	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3 5 5 番地	100	20

注) 1. 地方自治法第 2 4 4 条の 2 第 3 項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

事業報告書				
2-(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）				
種類又は事業名	委託管理	実施場所	備考	
地域生活支援センター		岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋355番地		
生活訓練施設		岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋355番地		
授産施設		岐阜県美濃加茂市太田町1752番地の2 太田パークビル1階		
指定居宅介護支援事業所		岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋355番地		
訪問看護ステーション		岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋355番地		
訪問リハビリテーション		岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋355番地		
美濃加茂市地域包括支援センター	美濃加茂市委託事業	岐阜県美濃加茂市前平町1丁目257番地		

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を委託管理の欄に記載すること。

事業報告書		
2-(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）		
種類	実施場所	備考

事業報告書	
2-(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項	
日付	議決又は同意した事項
令和6年5月28日	令和5年度決算の決定、事業報告、収益金の処理について
令和7年3月25日	令和7年度事業計画及び収支予算の決定
令和7年3月25日	令和7年度借入金額の最高限度額の決定
注) 2-(5)、2-(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないと。	

2-(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由

医療機関債名	発行元医療法人名	購入総額	償還期間（開始日～終了日）	

注)
1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。
2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は償還証書の写しの添付に代えても差し支えない。

2-(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設	
日付	開設（許可を含む）した主要な施設

2-(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	
日付	他の法律、通知等において指定された内容
注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。	

2-(9) その他	
日付	記載事項
注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)	

法人名 医療法人清仁会
所在地 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3555番地

※医療法人整理番号 00019

貸借対照表
令和7年3月31日 現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	4,019,506	I 流動負債	177,757
現金及び預金	3,521,757	支払手形	
事業未収金	414,232	買掛金	11,531
有価証券		短期借入金	
たな卸資産	7,835	未払金	3,218
前渡金		未払費用	154,168
前払費用	4,055	未払法人税等	3,552
その他の流動資産	71,627	未払消費税等	2,298
		前受金	61
		預り金	26
		前受収益	
		その他引当金	2,903
		その他の流動負債	
II 固定資産	1,174,794		
1 有形固定資産	1,155,026	II 固定負債	0
建物	800,185	医療機関債	
構築物	7,174	長期借入金	
医療用器械備品	5,797	繰延税金負債	
その他の器械備品	18,562	その他引当金	
車両及び船舶	3,020	その他の固定負債	
土地	189,559		
建設仮勘定	14,365		
その他の有形固定資産	116,364		
		負債合計	177,757
		純資産の部	
2 無形固定資産	16,612	科目	金額
借地権		I 基金	
ソフトウェア	16,331		
その他の無形固定資産	281	II 積立金	
		代替基金	
3 その他の資産	3,156	繰越利益積立金	2,465,543
有価証券		その他積立金	2,551,000
長期貸付金	1,380		
保有医療機関債			
その他長期貸付金			
役員等長期貸付金			
長期前払費用		III 評価・換算差額等	
繰延税金資産		その他有価証券評価差額金	
その他の固定資産	1,776	繰延ヘッジ損益	
		純資産合計	5,016,543
資産合計	5,194,300	負債・純資産合計	5,194,300

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人清仁会
所在地 岐阜県美濃加茂市森屋町上郷屋3555番地

医療法人整理番号 00019

損 益 計 算 書
自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

(単位：千円)

科目		金 額	
I 事業損益			
A 本来業務事業損益			
1 事業収益			2,493,846
2 事業費用			
(1) 事業費	2,515,081		
(2) 本部費		2,515,081	
本来業務事業損失		21,235	
B 附帯業務事業損益			
1 事業収益			227,142
2 事業費用			204,468
附帯業務事業利益			22,674
C 収益業務事業損益			
1 事業収益			
2 事業費用			
収益業務事業利益			0
事業利益			1,439
II 事業外収益			
受取利息	1,497		
その他の事業外収益	121,873		123,370
III 事業外費用			
支払利息			
その他の事業外費用	1,354		1,354
経常利益			123,455
IV 特別利益			
固定資産売却益			
その他の特別利益			0
V 特別損失			
固定資産売却損	454		454
その他の特別損失			
税引前当期純利益			123,001
法人税・住民税及び事業税			
法人税等調整額			0
当期純利益			123,001

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式 2

法人名 医療法人 清仁会
所在地 美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3 5 5 5 番地

※医療法人整理番号	19
-----------	----

財 産 目 録
(令和 7 年 3 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	5,194,300 千円
2. 負 債 額	177,757 千円
3. 純 資 産 額	5,016,543 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	4,019,506
B 固 定 資 産	1,174,794
C 資 産 合 計 (A + B)	5,194,300
D 負 債 合 計	177,757
E 純 資 産 (C - D)	5,016,543

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。	
土 地	(■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物	(■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人清仁会

理事長 山田 實紘 殿

私たちは、医療法人清仁会の令和6会計年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に準拠して、作成されているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に準拠して、作成されているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和7年5月30日

医療法人清仁会

監事 堀部 清秀

監事 西田 英彦

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」、医療法第51条第2項に規定する医療法人については、「財産目録、貸借対照表及び損益計算書（医療法人会計基準第3条に規定する重要な会計方針の記載及び第22条に規定する貸借対照表等に関する注記を含む）、純資産変動計算書及び附属明細表」とする。